



1 年間ありがとうございました。



教育庁指導部 義務教育指導課長 大和 義行

今年度のメール・マガジン「Scrum」の最終号をお届けします。今年度は、4月に第57号を発行し、今回の第64号まで計8回「Scrum」を発行することができました。この「Scrum」は、「児童・生徒の『確かな学力』の定着と伸長に関する先進情報の提供」を目的として定期的に配信していますが、毎回、読者の皆さんの期待に応え得る情報を発信できたか、ということがとても気になっています。この1年間の「Scrum」はいかがだったでしょうか。

さて、学校や区市町村教育委員会においては、毎年、年度末のこの時期には新年度に向け、様々な準備を進められているかと思いますが、特に現在、次期学習指導要領に関する動きが見られており、全面実施までの計画・準備を含め、例年以上に取り組まなければならないことが多く、それらの中には、「どのように取り組んでいけばいいのか」と苦慮されていることもあるのではないかと思います。

平成23年度の創刊号を見ますと、この「Scrum」という名前には、「それぞれの学校や区市町村教育委員会と東京都教育委員会がしっかりと団結して、一人一人の児童・生徒の学力向上を図るための取組を行っていきたい」という思いが込められているとあります。都教育委員会としても、区市町村教育委員会や各学校の取組を支援できるよう、従来の「確かな学力」に関する情報以外にも、一つ一つの課題の解決につながるような有効な情報を積極的に発信していきたいと考えています。

この1年間、「Scrum」を御覧いただきありがとうございました。来年度も、読者の皆さんの立場に立って、より充実した内容となるよう取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

掲載内容

- 「東京方式1単位時間の授業スタイル」リーフレットに基づく公開授業について
- 「第3・4学年小学校外国語活動指導資料（試行版）」を御活用ください。
- 「平成28年度 東京都小学生科学展」を開催しました。

東京都教育委員会ホームページ内に「学び応援ページ」というコーナーがあるのを御存知ですか。

「学び応援ページ」には、各学校が、指導内容や指導方法等の工夫を通して、授業の改善・充実を図ることを応援するための、様々な事例集や報告書等を掲載しています。ぜひ、御覧いただき、参考にしてください。なお、本通信のバックナンバーも、「学び応援ページ」に掲載しています。

（東京都教育委員会ホームページアドレス

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/>）

東京都教育委員会ホームページ・トップページ
の下の方に、このリンク用バナーがあります！



★ 本メール・マガジンの配信を希望する方は、件名に「メール・マガジン配信希望」、本文に所属・氏名を御入力いただき、S9000024@section.metro.tokyo.jp へメールを御送信ください。

「東京方式 1 単位時間の授業スタイル」リーフレットに基づく公開授業について

東京都教育委員会では、児童・生徒の思考力・判断力・表現力等を一層高め、主体的に学習に取り組む態度を育むことができるよう、教科ごとにそのモデルとなる指導展開例をつくり、リーフレットにまとめ、昨年度、都内公立小・中学校の教員に配布しました。

今年度は、本リーフレットの作成を担当した各教科 2 名の委員が中心となり、9月から1月までに、本リーフレットに基づく公開授業を実施しました。小学校 4 教科、中学校 5 教科で各 2 回、計 18 回の授業公開を行い、約 450 名が参加しました。

授業の後の協議会では、児童・生徒がより深く思考するための学習課題はどのようなものか、学習の段階ごとどのような指導の工夫が必要なのかなど、1 単位時間の授業をどのように組み立てていけばよいかについて、活発な協議が行われました。



参加者のアンケートより

協議で都内の様々な学校の先生の意見に触れることができ良かったです。授業の組み立て方についていろいろな考え方があることが分かりました。今後もこのような会に参加したいです。

話し合いのねらいをはっきりさせることが大切だと分かりました。1 単位時間の授業の流れについて考えることができ良かったです。今後の指導に生かしていきたいと思えます。

深い学びという視点からつくられた、よい授業だと思いました。主体的に考え、課題に沿って話し合いをした結果、子供たちがより深い思考をすることができていたと思えます。

日々の積み重ねが大切だと感じました。日々の授業をこのような流れで指導することで、子供たちも主体的に学習できるようになり、話し合いの質も向上していくと感じました。

本時の課題の設定の仕方、その課題を段階的に生徒が解決するためにどう指導すべきか、とても勉強になりました。ゴールを明確にし、子供たちの主体的な学びにつなげていきたいと思えます。

どの子供も深く思考し、問題解決をできるようにする授業でした。1 単位時間の展開の時間配分がとてもよく考えられていました。熱心に、集中して学習する子供の学ぶ姿勢が、とても良いと感じました。



【協議会の様子】

本リーフレットを日々の学習指導に御活用ください。児童・生徒の思考力・判断力・表現力等を育むために、一層の授業改善をお願いいたします。

● 「第3・4学年小学校外国語活動指導資料（試行版）」を御活用ください。 ●

次期学習指導要領の円滑な実施に向けて

平成28年12月に中央教育審議会により示された「幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について」には、次期学習指導要領に向けて、中学年から「聞くこと」及び「話すこと」を中心とした外国語活動を通じて外国語に慣れ親しみ、外国語学習への動機付けを高めた上で、高学年から発達段階に応じて段階的に「読むこと」及び「書くこと」を加えて、総合的・系統的に扱う教科学習を行うことが求められることが明記されました。

次期学習指導要領の円滑な全面実施に向けては、先行実施期間における小学校中学年の外国語活動の適切な実施が重要です。東京都教育委員会は、各学校が平成29年度から、小学校第3・4学年で外国語活動の先行実施に取り組めるよう「第3・4学年小学校外国語活動指導資料（試行版）」を作成しました。

◆ 次期学習指導要領における授業づくりのポイント等を紹介

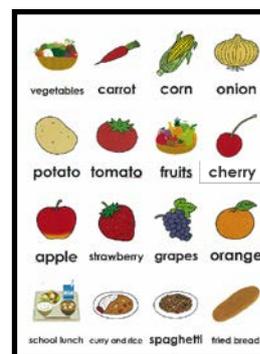
指導者が授業を行う上で必要な指導技術や校内で行う効果的な研修方法等を「理論編(20ページ)」にまとめています。

◆ 第3・4学年における各学年35単位時間分の学習指導案を掲載

現在、第5・6学年の外国語活動で使用されている文部科学省補助教材「Hi, friends!」との関連を図った具体的な指導展開例を「実践編(88ページ)」で紹介しています。第3学年はLesson1～9(35時間)、第4学年はLesson1～8(35時間)の学習指導案です。

◆ 授業で活用できる絵カードを付属

上記の学習指導案で授業を実施する際に、新しい語彙を紹介したり、それらの語彙に慣れ親しむためにゲームなどを行ったりするための絵カードを用意しています。A4判でカラー印刷をすることで、全体指導の中で提示する絵カードとして使えます。また、A4サイズに16枚分割でグループの数の分を印刷すれば、カルタ等のカードゲームとして使えます。



◆ 文部科学省作成補助教材（絵本教材）の具体的な指導展開例を紹介

文部科学省が作成した補助教材（絵本教材）“In the Autumn Forest”と“Good Morning”を活用した具体的な指導展開例については、“In the Autumn Forest”は「実践編」第3学年Lesson5に、“Good Morning”は「実践編」第4学年Lesson5に紹介しています。

「平成28年度 東京都小学生科学展」を開催しました。

東京都教育委員会では、小・中学校における理数教育の充実に向けて、様々な取組を実施しています。ここでは、「平成28年度 東京都小学生科学展」について紹介します。

東京都小学生科学展とは

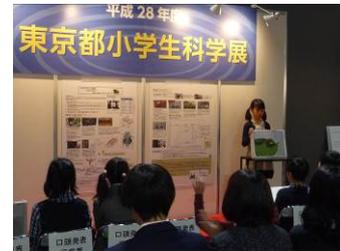
東京都小学生科学展は、全都の理数好きの小学生が、自ら決めたテーマについて深く研究した成果を展示・発表することを通して、**理数についての能力を高め、理数好きの児童を更に増やす**ことを目的としています。

今年度の概要

- 会場 日本科学未来館（江東区青海2-3-6）
- 公開期間 平成29年1月13日（金）から同月16日（月）まで（4日間）
※代表児童は14日（土）と15日（日）のどちらかの日に、一人10分間程度の口頭発表
- 出品数 61点（各区市町村からの代表作品1点）
- 来場者数 3,071人



【展示の様子】



【口頭発表の様子】

表彰

審査の結果、東京都知事賞1点、東京都教育委員会賞5点を選出し、平成28年11月20日（日）に、大手町サンケイプラザで開催した「科学の祭典」において、**中学生科学コンテスト（中学生）及び科学の甲子園東京都予選（高校生）と合わせて表彰式**を行いました。



平成28年度 東京都小学生科学展 東京都知事賞及び東京都教育委員会賞の受賞作品

賞	学校名 学年・氏名	研究テーマ
東京都知事賞	新宿区立牛込仲之小学校 第5学年 三上 達也	花をきれいに長もちさせる液体は？
東京都教育委員会賞	港区立青南小学校 第6学年 種村 透哉	炭酸水克服プロジェクト ～ヒミツの裏ワザの秘密～
	杉並区立杉並第十小学校 第4学年 渡邊 弐子	「アオドウガネ」の研究 ～大発生の理由～
	豊島区立高南小学校 第6学年 猪端 さくら	竜巻の秘密 ～条件変更型・竜巻発生装置～
	調布市立飛田給小学校 第6学年 佐藤 友莉香	薬味と基本調味料の殺菌作用について
	三宅村立三宅小学校 第4学年 日下 海音	三宅島坪田港の気象・海きょうと 釣り上げた魚の量の変化について

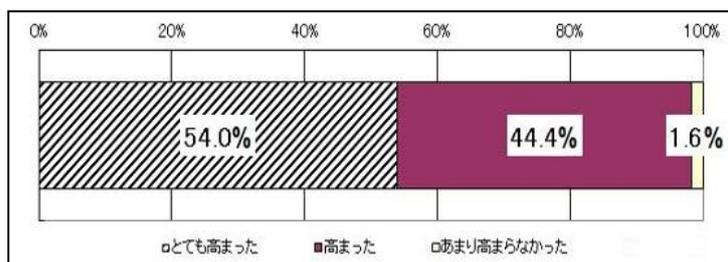
※ 上記以外の各区市町村の代表作品につきましては、優秀賞となります。

口頭発表参加児童及び来場者の声

1 口頭発表参加児童の声

- 他の友達の口頭発表を聞いて、自分とは違う考え方や方法で研究を進めていて、参考になりました。
- 口頭発表は、緊張したけれど、とても良い経験になりました。中学校でも研究を続けていきたいです。
- 研究の中には何年もかけて取り組んでいるものもあって、科学に対する意欲がすごいと思いました。

友達の作品を見たり、発表を聞いたりして、科学に対する興味や関心が高まりましたか。



口頭発表参加児童の98.4%が、「科学に対する興味・関心が高くなった」と回答しています（アンケート結果より）。

2 来場者の声

- 自由研究のお手本となる作品ばかりで、感心しました。日常生活から問題を見付けるなど、小学生らしい着想に基づく研究がとても良いと思います。
- 展示方法、口頭発表とも非常によかったです。特に、学識経験者のコメントは、子供たちの科学への関心を高めるきっかけになります。

東京都小学生科学展終了後、各区市町村の代表作品を作品集としてまとめ、代表児童や都内公立小学校などに配布しました。

今年度の実施に当たり、作品作成に係る支援や口頭発表への指導・助言など、保護者の皆様や学校の先生方、関係の方々に御協力いただきましたことに対し、改めて感謝申し上げます。

東京都小学生科学展は、来年度も実施いたします。本科学展をきっかけにして、理数好きの児童が更に増えていくことを期待しています。

各区市町村の代表作品は、東京都教育委員会ホームページに掲載しています。

<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/shidou/risuu.htm>

